	欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 吉舎鉄工所

(2) 事業所の所在地

広島県三次市吉舎町三玉541番地

(3) 業種

銑鉄鋳物製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、平成30年度から平成34年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO₂),削減率(%)

温室効果ガス の種類 基準年度実 排出量(a)		目標年度 上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
	平成29年度	平成34年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー	5. 503	4. 699	4. 875	3.610	3. 574		
起源C02	5. 505	(14. 6)	11.4	34.4	35. 1	100.0	100.0
非エネルギー							
起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン							
<i>y. y •</i>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素							
政门一主尔		0. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	その他 温室効果ガス						
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス	温室効果ガス 実排出量総計 5.053	4. 699	4. 875	3.610	3. 574		
実排出量総計		(7.0)	3. 5	28. 6	29. 3	100.0	100.0
温室効果ガス							
みなし排出量							
実績に対する 自己評価 平成31年度、32年度と大幅に削減できている。電気炉とコンプレッサーの電気消費の 所に対して対策ができた為と思われる。引き続き無駄な消費がないか検討し削減に努							

[※] 削減率(c)=((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標: 生産重量

温室効果ガス の種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段:目標 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
	平成29年度	平成 年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0, 0	0.0	0, 0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0		0.0	0, 0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エ不ルキー消費原 単位(原油換算 kl)	471. 5	-100.0	473. 3 -0. 4	488.6 -3.6	467. 2 0. 9	100.0	100.0
実績に対する 自己評価							

[※] 削減率 $(c) = ((b)-(a))/(a) \times 100$ 削減量の対基準年度比 $(e) = ((a)-(d))/(a) \times 100$

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	○ 価重効素の分が出外的に円りた収益の 目がある場合				
	項目	削減量等	具体的な取組み		
1	電気使用量の削減	原油換算 5 kl/年 電気の使用量を0.2%削減	400W水銀灯をLED照明へ(実施済)		
2	電気使用量の削減	原油換算15.6kl/年 電気の使用量を0.8%削減	効率電動機の採用(2020~2023)		
3					
4					

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

_	\cup	<u> </u>	(現児伽旭の活用寺)
		種類	合計量
	1		
	2		
	3		

○ その他の取組み

\sim	プー C V / IE V / J / J / J / J / J / J / J / J / J /					
	項目	削減量等	具体的な取組み			
1						
2						
3						

[※] 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。